



3月17日 深谷市民文化会館 楽しくわかる！成年後見制度講演会

よしもと芸人が漫才を交えて、理解しづらい制度をわかりやすく伝えました。来場者は、軽快なやり取りで楽しみながら制度の理解を深めました。



3月17日 深谷市消防本部 今日は一日消防士！『深谷消防フェア』

消防士体験では実際に放水をしたり、ロープを渡る体験をしたりしました。また、『庁舎探検』では、普段入れない場所も見ることができました。



4月6日 瀧宮神社（西島地内） 桜満開！『ふかや桜まつり』

瀧宮神社で、今年も『ふかや桜まつり』が開催され、満開の桜のもと巨大紙相撲や金魚すくいなどさまざまな催しが行われました。



4月7日 丸山酒造株式会社（横瀬地内） 市内酒造会社で『蔵開き』イベント

丸山酒造で毎年恒例の『蔵開き』イベントが開催され、おいしいお酒と食べ物を求めて長い行列ができました。



4月14日 富士重忠公史跡公園 『坂東武士の鑑』重忠公をしのぶ祭り

今年の『重忠まつり』では、恒例の『浦安の舞』を奉納したほか、子ども綱引き大会など力自慢であった重忠公にちなんだ催しも行われました。



4月14日 深谷グリーンパーク 『パティオまつり』開催！

桜とチューリップがそろって咲き、花いっぱい会場では、キッチンカーやさまざまな屋台が集まったほか、ステージイベントで大盛り上がりでした。



▲発表当日、渋沢栄一記念館に集まった皆さんで万歳三唱しました



4月9日 渋沢栄一記念館 郷土の偉人『渋沢栄一翁』が新紙幣の肖像画に採用！

4月9日、新しい1万円札の肖像画に深谷市出身の『渋沢栄一』が採用されることが発表されました。発表に伴い、急きょ市では渋沢栄一記念館を会場に記者会見を開催するとともに、市民の皆さんやボランティアの皆さんと一緒に決定を祝いました。

また、会場には、渋沢栄一をデザインした『10万円札お守り』を制作し、紙幣化をPRする活動をしてきた市内商工業者が中心でつくる『青淵会』のメンバーも集まりました。

なお、新紙幣の発行は2024年度上期が予定されています。

◀（写真左）駆けつけた来場者の皆さんには、栄一翁の好物であった『煮ぼうとう』がふるまわれました。（写真右）急きょ開催した記者会見には、20社を超える報道関係者が集まったほか、たくさんの地元のかたが駆けつけました。



▲除幕には地元小・中学生や葦塚直次郎のご子孫のかたなどが携わりました。



▲左から『渋沢栄一』、『尾高惇忠』、『葦塚直次郎』のレリーフ

3月28日 渋沢栄一記念館 『富岡製糸場と深谷の三偉人』がレリーフに！渋沢栄一記念館で除幕式開催

富岡製糸場と深谷の三偉人『渋沢栄一』、『尾高惇忠』、『葦塚直次郎』の銅製レリーフが渋沢栄一記念館に完成し、多くのかたが集まる中、除幕式を行いました。なお、このレリーフは、三芳町にある石坂産業株式会社の創業者である石坂好男氏（深谷市八基地区出身）の寄付を元に制作しました。



▲除幕式に集まった地域の皆さん。